



## 薬剤耐性 Antimicrobial resistance

薬剤耐性（AMR）は、人間の健康と今後の保健医療提供を危険にさらすものであり、グローバルヘルス及び人間開発に対する最大の脅威の一つであると考えられる。たとえば、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジに向けた進展、強靱な保健医療システムの構築、感染性疾患による病気と死亡の低減、高品質、安全かつ効果的な医薬品、及び衛生状態、安全な水と公衆衛生など、グローバルヘルス及び開発に関する近年の多くの成果は、AMRにより課題を突き付けられている<sup>1</sup>。

世界のあらゆる地域で、細菌、寄生虫、ウイルス及び菌類はますます抗微生物薬に対して耐性を持つようになっている。その結果、抗微生物薬が効かなくなり、感染状態が続き、他の人々や集団への感染が拡大するリスクが高まる。AMRは長い期間をかけて自然に発生するが、主に人と動物における抗微生物薬の誤使用及び過剰使用などのいくつかの要因によって加速される。耐性病原菌の蔓延は、人口増加、感受性人口の変化、都市化による人口過密、環境変化、戦争と社会混乱、不十分な感染症対策、衛生状態と衛生設備、食品産業の変化、及び拡大する世界貿易や旅行などによって促進される<sup>2</sup>。一般的な医療関連感染と市中感染を引き起こす病原体（すなわち、大腸菌 [E. coli]、クラブシエラ肺炎桿菌 [K. pneumoniae]、黄色ブドウ球菌 [S. aureus]、エンテロコッカス・フェシウム [E. faecium]、アシネトバクター・バウマニ [A. baumannii]、緑膿菌 [P. aeruginosa]）、及び結核や、マラリア、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）などの重篤感染症に、驚くべき速さで新たな耐性メカニズムが出現している。

微生物がすべてのクラスの抗微生物薬に対して耐性を持つようになると、一般的な感染症に対しても、重篤な感染症に対しても治療に利用できる選択肢がほとんどなくなる。「最後の手段」となる抗微生物薬は、しばしば、より有害で、より高価で、効果が少ないものが多い。AMRによる影響には、疾病の長期化、より長期のより集中したケアの必要性、罹患率の上昇、予防可能な死の増加、耐性微生物の蔓延及び高額な医療費などがある<sup>3</sup>。化学療法や手術などの医療処置も、有効な抗微生物薬がなければきわめてリスクの高いものとなる。

看護師及び他の医療従事者は、抗微生物薬の効力を維持するうえできわめて重要な役割を担っている。看護師は、患者ケア及び多職種コミュニケーションにおいて中心的な役割を果たしていることから、AMRの低減に貢献する重要な立場にあり、抗微生物薬適正使用プログラム（ASP：antimicrobial stewardship programme）の機能にとって不可欠な存在である。看護師は、感染の評価と診断、抗微生物薬の投与、場合によっては処方、治療アウトカムのモニタリングと副作用の報告、予防接種の実施、及び患者やその家族、コミュニティの教育などを行う<sup>4</sup>。

## ICNの所信及び勧告

国際看護師協会（ICN：International Council of Nurses）は、世界的なレベルのAMRの蔓延に大きな懸念を抱いており、AMRの増大を止め、AMRのさらなる発生を防ぐために、多分野による協調的行動が今すぐ必要であることを認識する<sup>5</sup>。

看護の世界的な声として、ICNは以下を表明する：

- 国、地域及び世界レベルで、多分野による国家行動計画、プログラム及び政策イニシアチブの作成への尽力を含め、国際連合ハイレベル会合でまとめられた薬剤耐性に関する政治宣言を採択した決議を強く支持する<sup>1</sup>。
- 個人、家族、コミュニティ及び住民の健康が、AMRの予防及び撲滅を目的とする行動の中心となるべきであると確信する。
- 世界的なAMRの低減をめざして、看護師、消費者、医師、薬剤師、微生物学者及び獣医のほか、環境部門及び農業部門との全面的な協力を通じて、包括的、協調的かつ継続的な取組みを要請する。
- 保健医療施設におけるエビデンスに基づくASPの開発への参加、感染症の予防・管理（IPC）チームとイニシアチブの主導、及びIPC原則とベスト・プラクティス（最良実践）を適用するための学際的チームの支援を含め、AMRと闘う活動における看護師の主導的役割を全面的に支援する<sup>6</sup>。
- ASPガイドラインに示された看護の役割を十分に認めてもらうために、ASPに参加している多職種チームの全メンバーに対してこれらのプログラムにおける看護師の既存の役割を認識するように促す。

ICNは、各国看護師協会（NNA）に各国政府と連携して以下を行うことを奨励する：

- AMR及びAMRが人の健康と開発に及ぼす影響に関する理解を向上させるために、国民の意識を高め情報を広める。
- 看護師及び看護組織が、AMR予防のための国家行動計画の開発及び実施の一翼を担うようにする。
- 食用動物の生産、植物農業及び工業環境における抗微生物薬の無分別な使用をなくし、国際的に認知されている基準にしたがって、これらの領域における抗微生物薬の使用に関する国家ガイドラインを作成するように政府に働きかける<sup>7</sup>。
- エビデンスに基づく意思決定を支援し、新薬及び診断法の開発に関する情報を提供するために、耐性の程度と原因をモニタリングするための国家的なAMR動向調査システムの開発及び強化を各国政府に働きかける。調査、モニタリング及び監査活動において、看護師が中心的な役割を果たすようにする。

- 必須の抗微生物薬及びワクチンが供給されないまたは不十分な集団に対して、その入手方法と分配の改善を提唱する。
- 教育提供者と協力して、抗微生物薬の適正使用をはじめとする、IPC及びAMRに関する教育を、基礎教育及び継続教育レベルでコア・カリキュラムに組み込む<sup>8</sup>。
- IPC及び抗微生物薬適正使用に関する知識を看護実践基準のほか、看護師の基礎教育及び卒後教育に組み込む。
- 国の看護実践基準の確保の推進、及びIPC領域における専門職開発の支援により、IPCを専門とする看護師を支援する。
- 質が保証され、安全、有効、及び手頃な価格の抗微生物薬のみを認可、流通及び販売を確立する規制を政府に働きかける。

ICNは臨床家、教育者、研究者、政策に影響を与える者または幹部としての役割をもつ個々の看護師に対して、以下を要請する：

- 抗微生物薬適正使用活動はすでに日常の実践に組み込まれており、これらの活動がASP支援に不可欠であることを認識する<sup>8</sup>。
- AMRの決定因子、及び治療へのアドヒランスや、抗微生物薬の適切な使用、感染予防など、AMRの予防対策について患者とその家族に教育を行う。
- 抗微生物薬の選択、投与量、投与期間、投与方法及び治療アウトカムを含め、抗微生物薬の適切な使用を確保するため多職種チームと協力する。
- 保健医療ケア現場において、医療関連感染の予防及び管理を目的とするIPCの方針と実践を支援し、強化する。患者とその家族に、自宅やコミュニティにおける感染予防方法について教育を行う。
- AMRのリスクを低減する手段として予防接種率の向上を図る。健康アウトカムに対する予防接種の利点と重要性に関して、患者とその家族にエビデンスに基づく正確かつ公平な情報を提供する。
- 抗微生物薬を処方する際には、最適な医薬品、最短で効果的な投与量及び最適な投与経路に関する国の処方ガイドラインに従う。

2004年採択

2017年見直し、改訂

## 参考資料

1. United Nations. General Assembly A/RES/71/3 [Internet]. New York: United Nations; 2016 [cited 2017 Aug 15]. Available from: [http://www.un.org/en/ga/search/view\\_doc.asp?symbol=A/RES/71/3](http://www.un.org/en/ga/search/view_doc.asp?symbol=A/RES/71/3)
2. Nelson KE, Masters Williams C. Infectious Disease Epidemiology: Theory and Practice. 3rd ed. MA: Jones & Barlett Learning; 2014.
3. World Health Organization. Antimicrobial resistance: global report on surveillance [Internet]. Geneva: World Health Organization; 2014 [cited 2017 Apr 20]. Available from: [http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/112642/1/9789241564748\\_eng.pdf?ua=1](http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/112642/1/9789241564748_eng.pdf?ua=1)
4. Ellen ME, Hughes F, Shach R, Shamian J. How nurses can contribute to combating antimicrobial resistance in practice, research and global policy. *Int J Nurs Stud* [Internet]. 2017 Mar [cited 2017 Apr 20]. Available from: <http://dx.doi.org/10.1016/j.ijnurstu.2017.02.023>
5. World Health Organization. Antimicrobial resistance: Fact Sheet [Internet]. Geneva: World Health Organization [updated 2016 Sep; cited 2017 Apr 20]. Available from: <http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs194/en/>
6. Edwards R, Drumright L, Hiernan M, Holmes A. Covering more territory to fight resistance: considering nurses' role in antimicrobial stewardship. *J Infect Prev* [Internet]. 2011 Apr [cited 2017 Apr 20];12(1):6-10. Available from: DOI: 10.1177/1757177410389627
7. Food and Agriculture Organisation, World Health Organisation. Joint FAO/WHO Food Standards Programme: Codex Alimentarius Commission [Internet]. Geneva: Food and Agriculture Organisation, World Health Organisation; 2015 Jul [cited 2017 Apr 20]. Matters arising from FAO and WHO recent activities on antimicrobial resistance. Available from: [ftp://ftp.fao.org/codex/meetings/cac/cac38/cac38\\_16\\_add1e.pdf](ftp://ftp.fao.org/codex/meetings/cac/cac38/cac38_16_add1e.pdf)
8. Olans RN, Olans RD, DeMaria A Jr. The critical role of the staff nurse in antimicrobial stewardship—unrecognized, but already there. *Clin Infect Dis* [Internet]. 2015 Aug [cited 2017 Apr 20];62(1):84-89. Available from: DOI: <https://doi.org/10.1093/cid/civ697>

この文書の、他言語への翻訳を含む無断複製・無断転写を禁じる。国際看護師協会の文書による許可なしに、本文書のいかなる部分も、複写印刷またはその他の方法で活字として複製してはならない。また、検索システムへの保管、あらゆる形式による転送または販売もしてはならない。短い引用（300 語未満）は、出典を記載すれば許可なく複製してもよい。

All rights, including translation into other languages, reserved. No part of this publication may be reproduced in print, by photostatic means or in any other manner, or stored in a retrieval system, or transmitted in any form, or sold without the express written permission of the International Council of Nurses. Short excerpts (under 300 words) may be reproduced without authorisation, on condition that the source is indicated.

---

Copyright © 2009 by ICN - International Council of Nurses  
3, place Jean-Marteau, 1201 Geneva, Switzerland

(公・社) 日本看護協会訳 2017 年